

## ■ 原点に今一度戻って考えてみましょう

早いもので今年も12月、35周年を期して始めた地球温暖化防止活動も第4コーナーを曲がり3カ年計画のゴールまであと少しです。

今回は地球温暖化防止の原点に今一度戻って考えてみます。温暖化防止活動にはアプローチの仕方として「CO2排出量削減」と「CO2吸収」があります。

### 1番目の「CO2排出量削減」では、

省エネ・省資源が基本で、私達にできる事例として会報第435号、436号に「私たちができること＝うちエコ！アクション」として掲載しました。

ここでの考え方の基本はライフスタイルの見直しと、チョットした生活の工夫でCO2排出量を削減することです。また省資源活動事例としてはプルタブ回収を行い、合わせて車椅子を寄贈する活動も実施されています。

一方、会社の取り組みとしては創業100周年ビジョンで「環境革新No.1企業」が発信されており、具体的な取り組みの一つとして「CO2±ゼロ」の暮らしが提唱されています。

私たち会員ができることは、最新の省エネ商品への置き換えや住環境の改善です。実施された多くの方々からCO2削減に対し効果大との感想を得ています。会報では、第440号、441号にその概要を掲載しました。

### 2番目の「CO2吸収」では、

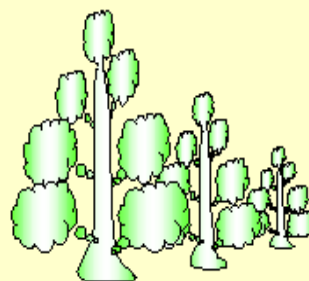
一般的には海洋表層水や植物の活用が該当しますが、私たち個人が行えることは、植樹や里山の再生、整備などで、既に全国各地で実施されています。

次にこれからの取り組みとして「私たちができること」について考えてみます。

地球温暖化防止活動は継続と広がり「社会へのお役立ちと個人の生き甲斐」につながる最も重要な視点とします。これまでの貴重な経験を活かしながら、継続活動にするポイントは「ご家庭での取り組み」に加え「地域や社会との連携強化」です。

下記に取り組みの視点を考えてみました。

- \* できることから着手 \* 継続可能なものを選択
- \* 生活スタイルを変える
- \* 生活環境を改善
- \* 利用可能な制度を活用
- \* 地域・行政活動に参加
- \* 地域のテーマを優先 \* 地域の特性を活かす
- \* ノウハウを共有する
- \* 子供達へ思いを伝承



植樹は CO2 吸収活動

これからも持続可能な低炭素社会実現のため、次のゴールに向け、地域の特性(地域の味)を活かしつつ地球温暖化防止活動に参加しましょう。

## CO2削減とバイ・パナソニックの実現に貢献しましょう。

「地球温暖化防止に私たちができること」 2010.12掲載

生活を見直し  
出来るものから  
始めてみましょう。



2010.12.8

パナソニック松愛会

横浜東支部 エコ担当 小川友通

横浜西支部 エコ担当 島山勝己